KITA-NET NEWS 2021/01

きたネット ニュース

助成制度や最新の資金調達法を1日で知るチャンス

【2020.10.4 市民活動助成セミナー 2020】

環境市民活動助成金セミナー「NPOの資金調達まるわかりセミナー」を昨年につづき、NPO法人エコネット近畿（大阪）、NPO法人地域の未来・志援センター（愛知）と共同で開催しました。ZOOM会議システムを使って3地域を結ぶオンラインイベントとして開催したところ、全国から合計163名、たくさんの方に参加いただきました。

きたネットは、北海道自治労会館を会場に、北海道の助成団体の助成制度の説明会を開催、その様子をオンラインでも配信しました。

第1部は3つの講座をおこないました。「助成金申請書の書き方講座」では、申請書のつくりかたのポイントや書き方についての注意点など、具体的にお話しいただきました。「新型コロナ 資金繰り支援制度」や「フィールドの遺贈寄付」の講座には、中間支援施設で働く方が多く参加されていました。

第2部は地域限定の助成制度（北海道は3団体4制度）、第3部は全国対象の助成制度（7団体）の説明がありました。新型コロナウイルスの影響を受ける活動団体の為に、助成金の制度を一部変更したという助成団体もありました。

第4部のグループ質問会では助成制度説明の内容をもとに、具体的に活動内容と助成制度のマッチングや申請方法について相談をすすめられるよう、オンライン5回線を使い全国や地域の助成団体の担当者と参加者が交流できる場にしました。

北海道では会場で各助成団体の担当者と個別相談会を実施。熱心な情報交換が行われていました。終了後のアンケートでは「自分たちの活動は制度に該当しないかもしれないと考えていたが、せっかくの機会なので相談してみると、該当することがわかった。これからぜひ申請準備をすすめたい」という声もありました。

オンラインと会場の同時開催という、きたネットとしても新しい試み。配信成功までの緊張感と同時進行の難しさを体感しました。参加者のみなさまのご協力により無事終了することができました。

【ご登録いただいた助成団体】

一般財団法人前田一歩園財団 / 公益財団法人北海道新聞野生生物基金 / 公益財団法人北海道環境財団 / 公益財団法人河川財団 / 独立行政法人環境再生保全機構 / 公益財団法人コメリ緑育成財団 / 一般財団法人セブン-イレブン記念財団 / 公益財団法人SOMPO環境財団 / TOTO 株式会社/ トヨタ自動車株式会社

キレイな浜辺を取り戻そう! ごみ拾いビーチウォーク

【2020.9.20 ラブアース・クリーンアップin北海道】

毎年、環境デーに近い6月の第1日曜日に、石狩市の三線浜で実施しているごみ拾いビーチウォークですが、今年は新型コロナウィルスの影響で、9月20日に延期して実施しました。

感染予防の観点から、実施方法も変更し、参加者には10:00～12:00の間の都合のいい時間に来ていただき、1時間ほどごみを拾って帰っていただきました。開会式も閉会式もせずに淡々と海岸のごみを拾う作業でしたが、天気も良く、気持ちのいい活動になりました。

参加者数は196名と例年の3分の1でしたが、拾ったごみはトータル3300kgを超える量で、例年とそれほど変わらない量でした。

◆ごみ収集量
一般廃棄物／可燃ごみ：900kg、燃えないごみ：750kg
燃やせないごみ：750kg、粗大ごみ：360kg
処理困難物等／自動車部品：150kg、魚網：450kg、
タイヤ：9本、テレビ：1台、洗濯機：1台

参加者のみなさんや周辺で活動を知った人、そして後日海岸にごみがないことに気付いた人にも、海岸のごみ問題について考えてもらい、北海道の環境保全につなげる活動を実施しています。

白老町の森で育樹活動と自然観察会

【2020.11.1 ラブアースの森づくり】

白老町の「ラブアースの森」の育樹活動では、樹の成長度合いや周囲とのバランスを考慮して除間伐と枝打ち作業を行っています。指導は土地を管理している「NPO法人ウヨロ環境トラスト」のみなさんにお願いしています。今回はトラストの森で、ミズナラの植樹も行い、森を創る作業も体験してもらいました。参加者はリピーターの方が多く、きたネット会員の「いしかり森林ボランティア『クマゲラ』」のベテランの方も参加され、作業はスムーズに終了しました。

昼食に、地元のキノコをふんだんに使ったきのこ汁とおでんをごちそうになり、作業の疲れも癒されました。

午後はウヨロ川のフットパスウォーキング。2時間ほどかけて川周辺の植物観察と森林浴を楽しみました。産卵のために競って川に上るサケを観察し、命をつなぐための自然界の壮大さに圧倒させられました。

きたネット会員

KITA-NET MEMBERS

ストランディングネットワーク北海道

漂着した鯨類から海洋生態系を探る

鯨類（イルカ・クジラ）は，海洋生態系の頂点にいます。その生態を知ることによって，人間が海洋生態系と共存することへの多くのヒントが得られます。

一般に，洋上での鯨類の捕獲・調査は極めて困難です。我々は，ストランディング（漂着，座礁，混獲等）した個体の調査を行い，取得した標本を多くの研究者に無条件で配分し，鯨類研究に貢献します。活動をはじめた2007年以来，少なくとも23種，約900個体の通報を受け，その半数以上について取得した標本を配分しました。例えば，2019年のクロツチクジラ新種認定は，我々の活動の大きな成果です。また，鯨類の胃から出現する海洋ゴミなど，今後取り組むべき課題も山積しています。鯨類研究への貢献はもとより，得られた研究成果をわかりやすく社会に還元したいと考えています。

今まで任意団体として活動してきましたが，活動の継続性と社会への貢献体制を確立するために，現在NPO法人申請を行っています。日本の一都道府県であるのみならず，豊かな海に囲まれ漁業が盛んな地球上唯一無二のバイオリージョンである北海道で，鯨類ストランディングに関する活動をすることは，地球規模の意義があると考えています。

【電話】090-1380-2336　【HP】https://kujira110.com/

冷水峠森づくりの会

冷水峠の森林を自然と親しむ場とし、生産の場とする

小樽から車で40分。標高320mの冷水峠（仁木町）に広がる4ha足らずの森林が私たちの活動場所です。

森林を保有する（社福）札幌協働福祉会は福島の子どもたちを夏休み・冬休みに招く保養事業を2011年から始めました。この子どもたちが森の中で活動できる環境づくりをしていこうと森づくりの活動も始まりました。彼らはここで、森林観察会やネイチャーゲーム、木工体験などを楽しみ、森に囲まれた環境の中で自然を満喫して過ごします。地元農家の皆さんや札幌からのボランティアなどが会の中心メンバーです。

冷水峠の森は、林齢50年前後のカラマツ人工林が大半で、植林できなかった急傾斜地に天然性広葉樹林が少し残っています。私たちが目指しているのは、①森林資源を自然と親しむ場として活用する②きのこや山菜採取、薪生産など森林を生産の場にする③人工林を間伐しながら、自然林の再生を図ることです。

間伐して日当たりの良くなった場所に広葉樹の稚樹が育っているのを見つけるとテーピングで目印をつけ、間違って切らないように笹刈りを行います。少しずつテープが増えていることに手応えを感じています。間伐材の活用は薪の生産に主力を注いでいます。薪割りなどは障がい者事業所の利用者さんに作業してもらっています。

今後は地域住民との接点をもっと増やして、間伐材の利活用を薪以外にも広げていけたらいいなと考えています。

【電話】090-1300-8314　【HP】node@mint.ocn.ne.jp

きたネットチョイス

KITA-NET CHOISE

円山ZOOラジオ 次回は2/24（水）放送決定!!

円山Zooラジオは、円山動物園とイキモノ大好きな、きたネットのメンバーMOORINOKOチームが企画・制作、札幌のコミュニティ FM「ラジオカロスサッポロ」で不定期にお届けしているラジオプログラムです。円山動物園が取り組む種の保存や生物多様性の保全に寄与するさまざまな取り組みを紹介し、動物園をより楽しむための情報、見どころを伝えるとともに、動物園職員や各方面の専門家とともに考え、円山動物園の取り組みをサポートしていくために市民に何ができるかを伝えます。また、地球規模で直面している、様々な環境問題や開発の問題と、身近な命とのつながりを考えるきっかけを提供しています。

パーソナリティーは、イラストレーター &ライター ETOBUN社のニイオカカオリさんと、きたネット事務局の宮本尚。提供はさっぽろ円山動物園サポートクラブです。これまでの放送は、youtubeのアーカイブでお楽しみいただけます。

円山ZOOラジオyoutube　http://bit.ly/38IitjQ
facebook　https://www.facebook.com/maruyamazooradio
twitter　https://twitter.com/mzooradio

お推めします!

ヒグマの会作成「ヒグマノート」

近年、ヒグマが人里や市街地にも出没するようになり、これまで以上に人とヒグマの距離感が縮まっています。ヒグマの会では、人とヒグマの適切な関係を築き、いつまでも北海道のシンボルとしてヒグマが生き続けることを願い、40周年記念事業の一環として、ヒグマの生態や安全対策についてわかりやすく解説した小冊子「ヒグマ・ノート～ヒグマを知ろう～」を出版しました。1冊300円で販売しています。小冊子を入手希望の方はヒグマの会事務局までお問い合わせください。※きたネット事務所でも入手可能です。

お問合せ　ヒグマの会 事務局（事務局長　佐藤喜和）
e-mail　higmax7@gmail.com

●きたネットのネットワークに参加しませんか。 会員は以下の2種類です
1. 正会員（市民環境活動団体・個人）年会費5,000円（1口）～総会における議決権を有します。
2-1賛助会員（企業・団体）年会費10,000円（1口）～総会における議決権は有りません。
2-2賛助会員（個人）年会費2,000円（1口）～総会における議決権は有りません。
●会員になると…各種連携事業の実施、広報協力、
会員間の交流・活動発表の場の提供、イベント参加費等の会員料金適用、
きたネットMLへの参加、各種環境情報の提供など。詳細は事務局にお問合わせください。